

# 令和7年度当初予算要求概要について

(令和7年1月)

環 境 部





## Contents

■ 兵庫県環境基本計画の改定案（概要）	2
■ 令和7年度 重要施策体系表	3
■ 令和7年度 重要施策	4
I 脱炭素	4
II 自然共生	8
III 資源循環	12
IV 健全・快適	14
V 共創力	16
■ 令和7年度 予算要求額	17
1 予算要求一覧表	17
2 予算要求額の概要（主要事業）	18

## 兵庫県環境基本計画※の改定案(概要)

※ 環境保全条例第6条の規定に基づく環境の保全と創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定める基本的計画

- 2019(H31)年2月の策定以降、2050年カーボンニュートラル実現に向けた地球温暖化対策の強化、生物多様性に関する世界目標を踏まえた新たな動き、資源循環社会への本格移行など、本県の環境を取り巻く状況、社会情勢の変化などに的確に対応するため、第5次計画(2019～2030年度)を改定

### 基本理念

## 将来につなぐ兵庫の自然の恵み ～県民と共に創る環境価値～

将来にわたる環境・経済・社会の持続可能性を確保し、**ウェルビーイング(県民の幸福)**を実現

### 施策展開の視点

本県の環境を取り巻く現状や兵庫らしい取組、時代潮流の変化を踏まえ、以下の**3つの視点**で施策を展開

#### 環境価値の創出

環境面の課題解決にとどまることなく、経済全体の高付加価値化や地域活性化にも貢献するような環境価値を創出し、地域で共有

#### 施策間の相乗効果の最大化とトレードオフの回避・調整

各施策の相乗効果を最大化するとともに、トレードオフを総合的観点から回避・調整

#### 共創力の発揮と担い手の育成

多様な主体のイコールパートナーシップによる連携・協働を推進するとともに、次世代の担い手を育成

### 施策体系

- 脱炭素・自然共生・資源循環を基軸とし、環境価値を創出
- 環境施策等の統合的な展開により、健全・快適な生活環境を確保
- 共創力を発揮するとともに、その担い手を育成



#### 脱炭素

- ▶ 経済活動や日常生活からの温室効果ガス排出削減
- ▶ 環境保全と両立した再生可能エネルギー等の導入拡大
- ▶ 環境と共生するまちづくり
- ▶ CO<sub>2</sub>を吸収・固定する森林・海洋機能の強化
- ▶ 気候変動適応策の推進

#### 自然共生

- ▶ ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現
- ▶ 野生鳥獣の適正な保護管理
- ▶ 里地里山・里海の保全と再生

#### 資源循環

- ▶ 資源循環の推進
- ▶ 廃棄物の適正処理

#### 健全・快適

- ▶ 健全で快適な生活環境の保全
- ▶ 化学物質等への対策

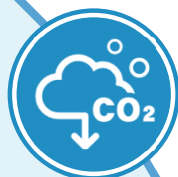
#### 共創力

- ▶ 多様な主体のイコールパートナーシップによる共創
- ▶ 共創を担う次世代の人材の育成

## 令和7年度 重要施策体系表

将来につなぐ兵庫の自然の恵み  
～県民と共に創る環境価値～

当初予算額 **3,429**百万円  
※人件費等を除く



**脱炭素**  
1,236百万円

- 経済活動や日常生活からの温室効果ガス排出削減
- 環境保全と両立した再生可能エネルギー等の導入拡大
- 環境と共生するまちづくり
- 気候変動適応策の推進



**自然共生**  
1,463百万円

- ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現
- 野生鳥獣の適正な保護管理
- 里地里山・里海の保全と再生



**資源循環**  
163百万円

- 資源循環の推進
- 廃棄物の適正処理



**健全・快適**  
458百万円

- 健全で快適な生活環境の保全
- 化学物質等への対策



**共創力**  
108百万円

- 共創を担う次世代の人材の育成
- 多様な主体のイコールパートナーシップによる共創

## I 脱炭素

～2050年脱炭素社会の実現～

要求額	国庫	特定財源	起債	一般財源
1,236,135	285,628	563,372	0	387,135

## 兵庫県地球温暖化対策推進計画の推進

## ● 兵庫県地球温暖化対策推進計画の推進

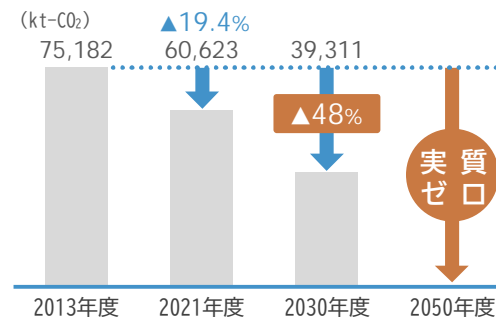
兵庫県地球温暖化対策推進計画(R4.3改定)において、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロをゴールとし、2030年度における温室効果ガス排出量削減を2013年度比▲48%、再生可能エネルギー発電量を100億kWhを目標とした

● 2050年カーボンニュートラルロードマップの作成 **新**

2050年カーボンニュートラル実現へ向けた道筋を示し、行動変容につなげる「ひょうご版2050年カーボンニュートラルロードマップ」を作成

## 温室効果ガス削減(2030年度)

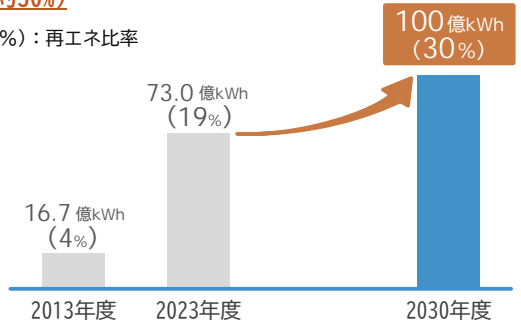
温室効果ガス削減量48%削減(2013年度比)の達成



## 再生可能エネルギー導入(2030年度)

再生可能エネルギー発電量 100億kWh(再エネ比率約30%)

(%)：再エネ比率



## 経済活動や日常生活からの温室効果ガス排出削減 (697,522千円)

## ■ 事業活動における脱炭素化

## ● 中小企業におけるカーボンニュートラルの取組ステップ

県内の温室効果ガス(GHG)排出量の約7割が産業・業務部門からの排出であり、近年、サプライチェーン全体での脱炭素を目指す動きも活発化していることから、資金や人的資源に乏しい中小事業者に対して段階に応じた支援を実施

## カーボンニュートラルを知る

## ひょうご脱炭素経営スクール

脱炭素経営のポイントや省エネ、再エネ導入の実践的手法を学び、行動につなげる

## 省エネルギーセミナー

省エネ対策を促進するため、具体的な取組や削減効果を啓発

CO<sub>2</sub>排出量を把握する

## 条例に基づく温室効果ガス削減

事業者による排出量削減計画策定や実践を指導し、措置結果の概要を公表

## GHG排出量算定サービス導入支援

サプライチェーン排出量の見える化を支援

CO<sub>2</sub>削減に取り組む太陽光発電設備等の導入支援 **拡**

PPA方式等による自家消費型太陽光発電設備の導入を支援

## 相談支援

再生可能エネルギー相談支援センターによる相談体制の構築

## 情報発信

## 情報発信の支援

事業者の再エネ導入事例についてホームページでの情報発信や、環境にやさしい事業者賞での企業表彰を通じ、事業者による環境への取り組みをPR



## ■ 脱炭素型ライフスタイルへの転換

### ● 再エネ・省エネ設備等の導入支援の強化

自家消費型太陽光発電設備及び蓄電池の導入支援や創エネ・省エネ設備の導入を促進する低利融資を実施するとともに、(公財)ひょうご環境創造協会と連携し、うちエコ診断を推進

### ● ひょうご1.5℃ライフスタイルの普及啓発

脱炭素型ライフスタイル、消費者の行動変容を後押しする啓発活動「ひょうご1.5℃ライフスタイル」について、脱炭素との親和性の高い将来世代や、消費の核となる子育て世代などを起点とした普及啓発を展開



様々な角度から脱炭素ライフスタイルへの理解を深め、行動変容を促進

#### 脱炭素行動の促進貢献量の可視化

##### ▶ アプリ連携による脱炭素貢献量(効果)の可視化

脱炭素行動促進アプリと連携し、楽しみながら自らの脱炭素行動を記録、その効果を可視化

##### ▶ ポータルサイトでの情報発信

我慢しない脱炭素型ライフスタイルの紹介や、脱炭素行動によるCO<sub>2</sub>削減量をダッシュボードで公開



#### 身近な商品を通じた普及啓発イベント

##### ▶ ひょうご1.5℃ライフスタイルフェア

脱炭素商品の認知拡大を図るイベントを小売店舗・施設との連携で開催

##### ▶ ひょうご1.5℃ライフスタイルワークショップ

脱炭素について親子で楽しく学び、考える機会を創出 無関心層の興味喚起に重点を置いたコンテンツを企画

## 環境保全と両立した再生可能エネルギー等の導入拡大 (300,196千円)

### ● ペロブスカイト太陽電池等を活用した地域脱炭素の強化 **新**

ペロブスカイト太陽電池の軽くて曲がる特性を生かした営農型太陽光発電の実証実験を実施し、地域における太陽光発電導入拡大に向けて検討

### ● PPA方式等による太陽光発電設備の普及促進

初期投資不要のPPA方式等により、駐車場等の未利用スペースへの太陽光発電設備の導入を促進



県施設へのPPA方式太陽光発電(加西市)

※ PPA：第三者所有モデル (Power Purchase Agreement)

### ● 太陽光パネルの廃棄・リサイクル体制の構築

(公財)ひょうご環境創造協会と連携して排出量推計やリサイクル手法の検討を進め、パネルのリユース・リサイクルの体制づくりを構築



事業者によるリユース

## 環境と共生するまちづくり (238,417千円)

## ■ エネルギーの地産地消の推進

## ● 地域循環共生圏の創出 ～再生可能エネルギーの導入拡大～

地域資源を活用した再エネの導入を図り、エネルギー費用を域外に流出させることなく、持続可能な形で資源が域内で循環する“エネルギーの地産地消モデル”として「地域循環共生圏」を創出

## ● 里山等バイオマス利活用プラットフォームの運営

北摂地域の取組を核とし、地域循環共生圏の構築を県内各地で進めるためプラットフォームを構築し、バイオマスの利活用を推進

また、交付金を活用した木質バイオマスボイラー導入を促進



木質バイオマスボイラー(神戸市北区)

## ● 地域団体への再エネ導入支援の強化

地域資源を活用した再エネ導入を検討する地域団体等に対し、掘り起こしから再エネ設備導入まで段階に応じた取組等を支援

黒土川小水力発電(R5.3稼働)  
(宍粟市千種町黒土地区)



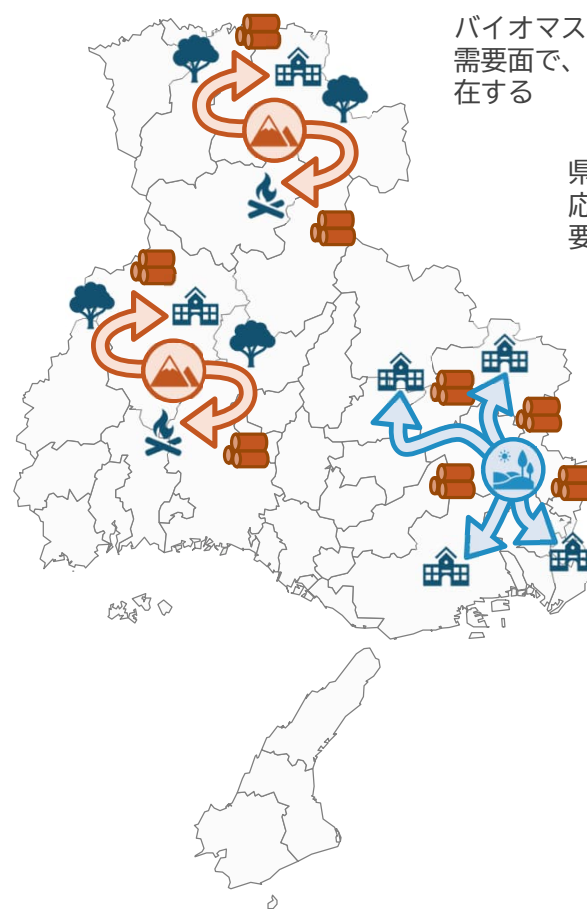
## ● 再生可能エネルギー相談支援センターの運営

(公財)ひょうご環境創造協会と連携し、再エネに関する相談対応やイベント等を通じた県民への普及啓発を実施



イベントでの啓発・相談

## 木質バイオマスの利活用による地域循環共生圏の目指す姿(イメージ)



バイオマス資源を利活用するにあたって、供給・需要面で、それぞれの地域ごとに異なる課題が存在する

県・市町・事業者等が連携し、地域に応じた解決策、導入手法を検討する必要がある

成功事例を集約、共有することで、取組を展開していく(プラットフォームを構築)



## 北摂里山地域循環共生圏

北摂で生産した里山チップスを近隣需要家で利用するモデル



## 地域内資源循環型

地域内に賦存する木質バイオマス(間伐未利用材、剪定枝、危険木、里山保全由来等)を、近隣の加工施設で燃料化し、地域内の施設で利用する

## ■ 環境に配慮した交通の実現

● 次世代自動車の普及 **拡**

次世代自動車の普及を促進するため、幅広い種類の電気自動車(EV)を対象とした事業者等への補助や公用車への導入を進めるとともに、水素社会の実現に向け、燃料電池自動車(FCV)に加え、燃料電池商用車(FCバス、FCトラック及びFCVタクシー)に対する導入補助により、水素モビリティの普及を促進



燃料電池 (FC)小型トラック



公用車への燃料電池自動車(FCV)の導入

● 水素ステーションの導入促進 **拡**

水素モビリティの普及に欠かせない水素ステーション整備に向け、地域内の課題・需要調査、候補地の検討を行うとともに、関係者への働きかけや整備費に対する補助メニューの拡充(大規模水素ステーションの追加)を行い、商用車対応も含めた水素ステーションの整備を促進



県内の水素ステーション

## 気候変動適応策の推進

温室効果ガスの排出を抑制する「削減策(緩和策)」を基本としながら、気候変動などの情報提供や気候変動影響を軽減する「適応策」の取組を一体的に推進

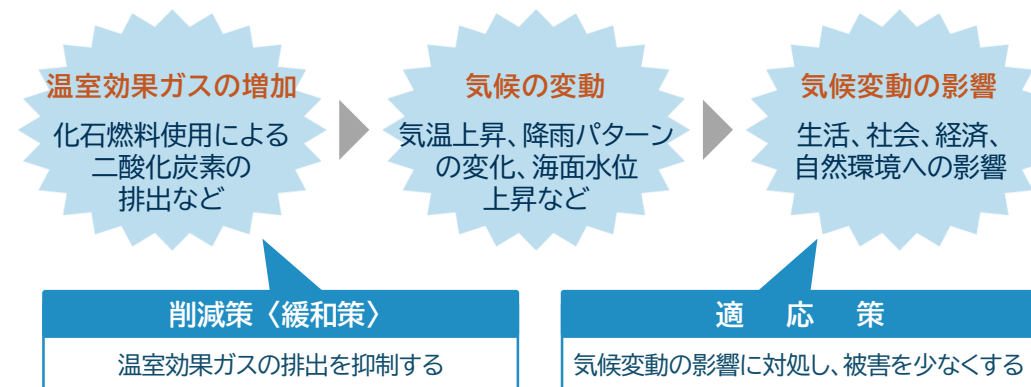
## ● 兵庫県気候変動適応センターの取組

フォーラムやセミナーの開催、ホームページにより県民や事業者等への普及啓発を実施

## ● 熱中症特別警戒情報への対応

「兵庫県暑さ対策ポータルサイト」で熱中症予防やアラート機能の紹介など、情報を発信

## 気候変動と削減策(緩和策)・適応策の関係





## Ⅱ 自然共生

～人と動植物が共存する豊かな自然の保全～

要求額	国庫	特定財源	起債	一般財源
1,463,094	933,709	235,269	0	294,116

### 生物多様性ひょうご戦略の推進

国内外の社会情勢の変化や新たな環境課題に的確に対応するため「生物多様性ひょうご戦略」を改定し、**Ⅰ 豊かな自然環境の適切な保全**、**Ⅱ 自然の恵みを活かした地域づくり**、**Ⅲ 豊かな自然を未来へつなぐ仕組みづくり**の3つの基本戦略ごとに行動目標を立てて各種施策を推進

### ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現（131,367千円）

#### 30by30の推進や自然の恵みを活かした地域づくり

##### ● 貴重で豊かな生態系の保全・再生

上山高原及び周辺地域においてイヌワシなど貴重な野生生物の生息に適した自然環境づくりを地域住民や専門家と連携して進め、エコミュージアムとして魅力向上に繋げる



上山高原の自然復元作業

##### ● 自然公園等の利用促進と施設の老朽化対策

自然公園内のふれあい施設や野営場、トイレ、看板・標識などの老朽化対策や近畿自然歩道の維持管理に取り組み、自然体験の拠点として快適性・安全性を確保

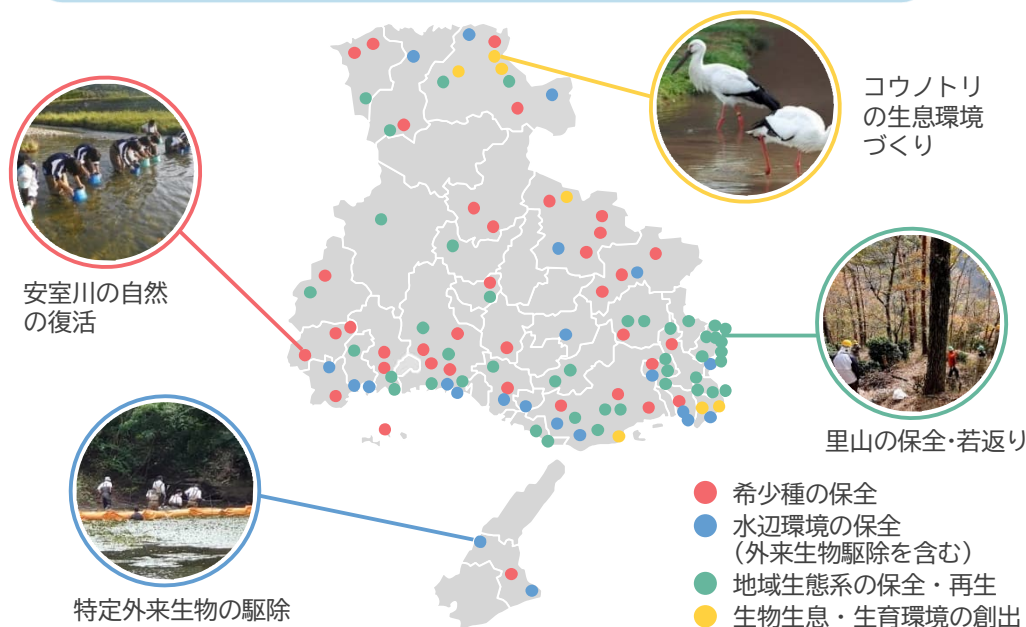


自然歩道の木橋・標識の改修

##### ● 多様な主体による参画と協働

地域のモデルとなる生物多様性保全活動を「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」として選定し、取組の連携強化や保全活動を支援

#### ひょうごの生物多様性保全プロジェクト活動状況



## 令和7年度 重要施策

## Ⅰ 脱炭素

## Ⅱ 自然共生

## Ⅲ 資源循環

## Ⅳ 健全・快適

## Ⅴ 共創力

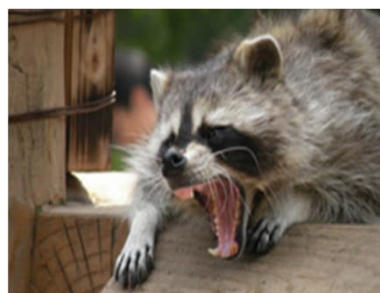
## ■ 特定外来生物をはじめとした侵略的外来種の防除

## ● アライグマ・ヌートリアの捕獲強化

市町の捕獲活動を支援するとともに、森林動物研究センターと連携した農業者や市町担当者等の捕獲技術の向上や、地域ぐるみの活動促進に向けたセミナーの開催等を通じて捕獲取組を強化



農園での現地研修



アライグマ

## ● 外来昆虫の防除強化

特定外来生物に指定されている外来昆虫の早期発見・早期防除に向け、分布調査や防除計画の策定、新しい防除手法の実証等に取り組み、効果的かつ効率的な防除対策を強化



生活環境などへ被害をもたらすアルゼンチンアリ



街路樹を食害するツヤハダゴマダラカミキリ



繁殖力が非常に強く、生態系や農業などに深刻な被害を及ぼすクビアカツヤカミキリ

## ● ナガエツルノゲイトウの抜本的防除対策

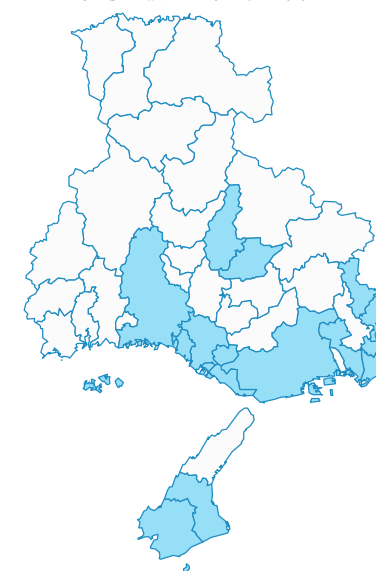
県中南部を中心に、急速に分布拡大の傾向にある現状を踏まえ、環境部・農林水産部・土木部の3部が連携して設置した「ナガエツルノゲイトウ防除対策会議」のもとに防除体制を構築（事務局：環境部自然鳥獣共生課）

また、分布調査や専門家による防除指導、効率的で効果的な防除手法の実証、人材育成、普及啓発など、早期発見・早期防除や定着阻止に向けた対策を市町や関係団体、専門家などと緊密に連携・協力して取り組む



ナガエツルノゲイトウ

県内の繁茂状況（R6.12末現在）  
16市町で侵入・繁茂を確認



## 主な防除方法



遮光率100%のゴム製遮光シートで繁茂箇所を覆い駆除



流出入口や洪水吐などに侵入防止フェンス・ネットを設置



地下の根ごと丁寧に掘り起こして引き抜く



堤防や石垣の目地の隙間から生えないよう樹脂で充填



野生鳥獣の適正な保護管理 (1,299,041千円)

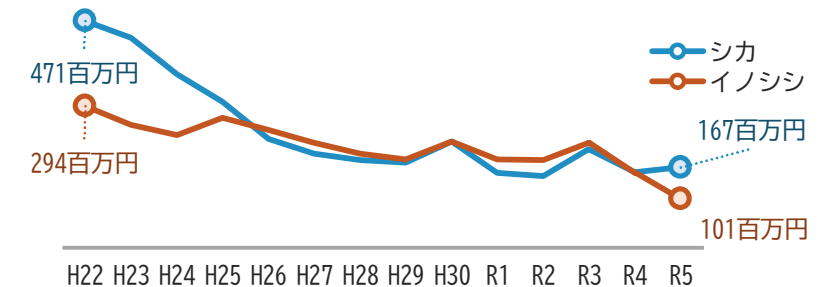
● 鳥獣保護管理事業計画の推進

近年、一部の野生鳥獣の生息数増加や生息範囲拡大などにより、農林水産業への被害や地域住民の精神被害等が発生しているほか、食害による森林の下層植生の消失など生物多様性への影響が生じていることから、獣種別の管理計画を策定し、市町との連携のもと、地域の実情に応じた野生動物の

- ① 個体数管理(捕獲)
- ② 被害管理(獣害防護柵の設置等)
- ③ 生息地管理(広葉樹林の整備等)

を総合的・計画的に行う野生動物の保護管理(ワイルドライフ・マネジメント)を推進

野生鳥獣による農林業被害額の推移



● シカ・イノシシ対策と集落支援の強化 **拡**

捕獲報償金制度の活用などにより、シカ・イノシシの捕獲を強化するとともに、捕獲したシカを地域資源として有効に活用するため、処理加工施設等への整備支援や普及啓発イベントの開催などにより、シカ肉等の需要を拡大

また、過疎高齢化が進む集落での適切な鳥獣被害対策実施のため、ICTに係る専門知識を備えた現地アドバイザーを集落へ派遣し、ICT技術を活かしたスマート獣害対策のモデルを育成



シカ有効活用推進イベント「文鹿祭」

● ツキノワグマ対策の強化 **新**

出没対応に係るマニュアルの作成や資材購入、出没対応訓練など、各市町におけるツキノワグマ出没防止対策や体制整備を進めるための取組を支援するとともに、有害捕獲用わなの導入や、ICT技術を用いた放獣個体の監視強化を実施

また、クマ管理に関する座学研修や実技研修を開催し、クマ管理を担う行政職員や市街地出没対応を担う人材を育成

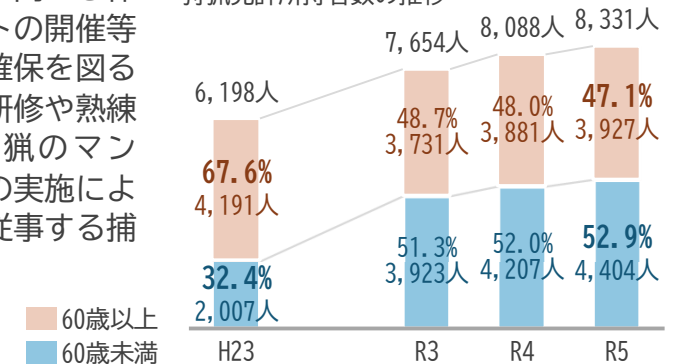


錯誤捕獲個体のモニタリング (養父市)

● 狩猟者(捕獲者)の確保・育成

狩猟への関心を高める体験会やPRイベントの開催等により狩猟者の確保を図るとともに、実践研修や熟練狩猟者による銃猟のマンツーマン指導等の実施により、有害捕獲に従事する捕獲者を育成

狩猟免許所持者数の推移



● 県立総合射撃場～ハンターズフィールド三木～の活用

R6年6月に開場した狩猟初心者向けの研修機能を併せ持つ県立総合射撃場を、狩猟人材育成の拠点として有効活用



わなフィールドでの「くくりわな」設置研修

## 里地里山・里海の保全と再生 (32,686千円)

## ■ 豊かで美しいひょうごの里海づくり

## ● 兵庫県栄養塩類管理計画(R4.10策定)の推進

望ましい栄養塩類濃度となるよう計画的な栄養塩類供給に伴う水質の状況の検証を行うとともに、水質目標値の達成・維持を図るため、

- ① 県民の理解を深める取組の検討・実施
- ② 栄養塩類増加措置実施者の追加
- ③ 新たな栄養塩類供給方策の調査・研究等 に取り組む

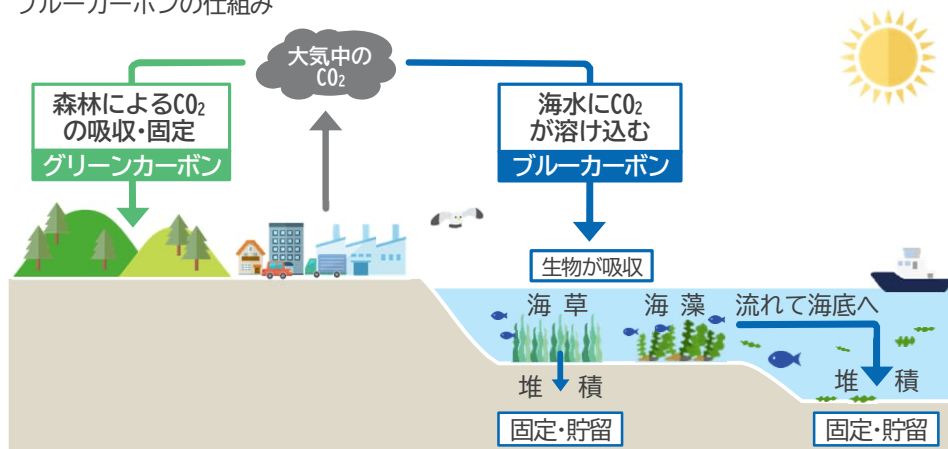
## ● 兵庫のりのブランディング

ノリの養殖・加工工程で排出されるCO<sub>2</sub>を森林由来のクレジットでオフセットした「カーボン・ゼロのり」を販売し、CO<sub>2</sub>削減、豊かな海づくり、森林保全といった環境貢献に関する県民の意識啓発を実施



播磨灘でのノリ養殖

ブルーカーボンの仕組み



## ● 県民参加による豊かな海づくり

ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催や豊かな海づくり活動啓発など「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を母体として、公民連携による県民参加の豊かな海づくり活動を推進



第2回ひょうご豊かな海づくり推進大会

## ● 藻場・干潟の再生、創出支援

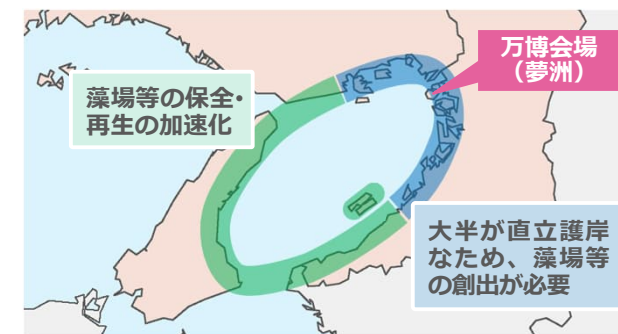
地域の多様な主体による本県沿岸域の良好な環境の再生等の取組を推進するため、地域団体等が行う藻場・干潟の再生・創出等、水辺などの実践活動を支援



NPOと漁業者、県民による藻場保全活動

## ● 大阪湾MOBAリンク構想の実現

企業や団体、行政機関等が連携して、藻場・干潟の大阪湾奥部における創出と湾南部や西部における保全・再生を図り、大阪湾沿岸をブルーカーボン生態系の回廊でつなぐ



大阪湾MOBAリンク構想



## III

## 資源循環

～脱炭素や自然共生につながる循環型社会の実現～

要求額	国庫	特定財源	起債	一般財源
163,052	102,476	35,759	0	24,817

## 資源循環の推進 (24,521千円)

## ● 暮らしに根ざした資源循環の展開

プラスチック資源循環や廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラルを促進する観点を加えた「兵庫県資源循環推進計画」(R6.1策定)に基づき、廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上を促進するとともに、資源循環を推進

## 暮らしに根ざした資源循環の重点取組

## プラスチック資源循環の推進

- プラスチックの「使用削減+焼却量削減」
- ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムの展開

## 食品ロス削減対策の推進

- ひょうごフードドライブの展開
- DXを活用したマッチングの推進

## サステナブルファッションの展開

- 市町等と連携した衣服回収システムの構築や「繊維to繊維リサイクル」の促進



## ● ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムの展開

3Rの取組を徹底しつつ、再生可能資源への代替(リニューアブル)の観点も加えた新たな資源循環の取組を強化するため、観光やスポーツなど異分野業種や市町、リサイクラー等と連携し、プラスチックの使用削減などの促進や、市町が回収する製品プラスチックの効率的な資源循環などプラスチック資源循環促進方策の具現化を推進



## 城崎温泉旅館協同組合

アメニティグッズのプラスチック使用削減・生分解性プラスチックの利用促進



## イオン×Loop

「Loop」を通じたプラスチックごみを出さない新しいライフスタイルの普及を促進



## 飲料メーカー・リサイクラー、EPCO

PETボトルやトレの水平リサイクルの取組を普及啓発し更なる資源循環の取組を目指す



## ごみ拾いアプリ(ピリカ)

ごみ拾いイベントや身の回りのごみ拾い時等に「兵庫県版ピリカ」活用を促進

## ● ひょうごフードドライブの展開

家庭で余っている食品をゴミにせず、それを必要とする福祉団体等にスーパー等を通じて寄附する「フードドライブ」の継続的な実施体制を確保



県庁舎でのフードドライブ

● 効率的・効果的な衣服回収システムの構築 **新**

地域特性に応じた効率的・効果的な回収方法の検討及び県民への衣類リサイクル普及啓発のため、実証事業を実施し、公民連携による効率的・効果的な衣服回収システムを構築



プロスポーツチームと連携したウェア回収イベント

## 廃棄物の適正処理 (138,531千円)

### ■ 廃棄物の適正処理

#### ● 漂流ごみ・海底ごみ対策の推進

海岸漂着物対策推進地域計画(R2.3改定)に基づき、海岸漂着物のみならず、漂流ごみ・海底ごみの回収・処理、流域圏(陸域から海域)での対策、プラスチックごみ対策を推進し、さらに漁業者による操業中の回収、市町ごみ処理施設での受入等の処理体制構築を推進



漂着したごみや流木  
(福浦海岸・赤穂市)

#### ● 処理が困難な廃棄物への対応強化

大量廃棄が懸念される太陽光パネルの適正な処理を推進するため、(公財)ひょうご環境創造協会と連携して排出量推計やリサイクル手法の検討を進め、パネルのリユース・リサイクルの体制づくりを構築

また、PCB廃棄物保管事業者及びPCB使用製品の所有事業者に対し、確実な処理を指導するとともに、計画的かつ適正に全てのPCB廃棄物の処理を推進

### ■ 災害廃棄物処理の体制づくり

#### ● 災害廃棄物処理への対応力向上 **拡**

発災時に迅速かつ円滑に災害廃棄物処理を行うため、市町職員等を対象に実践的な図上演習や実地訓練を実施するなど支援・連携体制を強化



図上演習

### ■ 廃棄物の適正処理体制の整備

#### ● 長期広域化・集約化計画の策定 **新**

ごみ排出量の減少や廃棄物処理施設の維持管理・更新コストの増大などによる廃棄物処理の非効率化等を踏まえ、将来にわたって持続可能な適正処理を確保し、同時にカーボンニュートラルも推進するため、中長期的な視点による安定的かつ効率的な廃棄物処理体制の構築に向けた長期広域化・集約化計画の策定をめざす

ごみ処理広域化・集約化協議会を設置し、現状整理とブロック区割りを検討

- ① 現時点の広域化状況の評価
- ② 人口ごみ排出量等の将来予測
- ③ ブロック区割りの設定案
- ④ ブロックごとの廃棄物処理体制

ブロック別に協議会を設置し内容を協議

長期広域化・集約化計画の策定

#### ● 廃棄物広域処理の推進

廃棄物の適正な海面埋立と、港湾の秩序ある整備による生活環境の保全と地域の均衡ある発展をめざす「大阪湾フェニックス事業」を促進

#### ● 災害廃棄物処理計画の策定支援

災害廃棄物の迅速かつ適正な処理には、仮置場候補地の選定や処理体制などを盛り込んだ市町災害廃棄物処理計画の策定が不可欠ことから、県内全市町の策定に向け、未策定市町に対し指導・助言を行い策定を支援

## Ⅳ

## 健全・快適

～健全で快適な生活環境の確保～

## 健全で快適な生活環境の保全 (429,601千円)

## ■ 健全で快適な生活環境の保全

## ● 水大気環境の保全

大気汚染防止法、水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づき、窒素酸化物等を排出するばい煙発生施設等や污水排出施設等の届出・許可審査、立入検査による指導等を行い規制基準の遵守状況等を監視し、水・大気環境の保全を図る

## ■ 美しい環境の確保

## ● 不適正処理の未然防止・拡大防止

廃棄物処理法及び産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例との一体的な指導強化により、不法投棄の未然防止・拡大防止に努めるとともに、土砂埋立等の許可にあたっては、廃棄物の混入防止や土砂崩落事故のような災害の発生防止措置等の審査や立入検査による許可基準の遵守状況を監視

## ● 不法投棄通報アプリの導入

不法投棄された廃棄物の状況を、投稿できるアプリを活用し、不法投棄に関する位置情報や写真などの情報をリアルタイムで把握し対応し、早期発見に努める

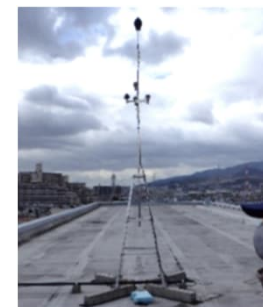


アプリ活用のイメージ

● 航空機騒音調査の実施 **拡**

関西国際空港及び神戸空港の便数増加に伴う新飛行経路の運用に対して、淡路島上の新航路の直下を中心に航空機騒音の影響増加が予想されることから生活環境の保全に資するため、航空機騒音の動向を監視

航空機騒音調査



## ● 不法投棄を許さない地域づくり

住民との合同監視パトロールの実施や自治会への監視カメラの貸出など、地域住民と連携した「不法投棄を許さない地域づくり」を推進

住民等による不法投棄物の撤去



## ● 県民参加による美しい環境づくり

クリーンアップひょうごキャンペーンとして県内各地で清掃等の環境美化活動を実施するとともに、ごみの発生抑制に向けた普及啓発活動等を通じて、美しい環境づくりに向けた意識醸成を図る



西淡中学校のボランティア清掃

要求額	国庫	特定財源	起債	一般財源
458,395	50,042	79,803	0	328,550



化学物質等への対策 (28,794千円)

● アスベスト対策の推進 **拡**

大気汚染防止法及び環境保全条例に基づき、アスベスト含有建築物の解体・改修工事について届出審査を行うとともに、法改正により令和4年度から義務づけられたアスベスト建材の有無に関する事前調査結果報告の内容確認を実施

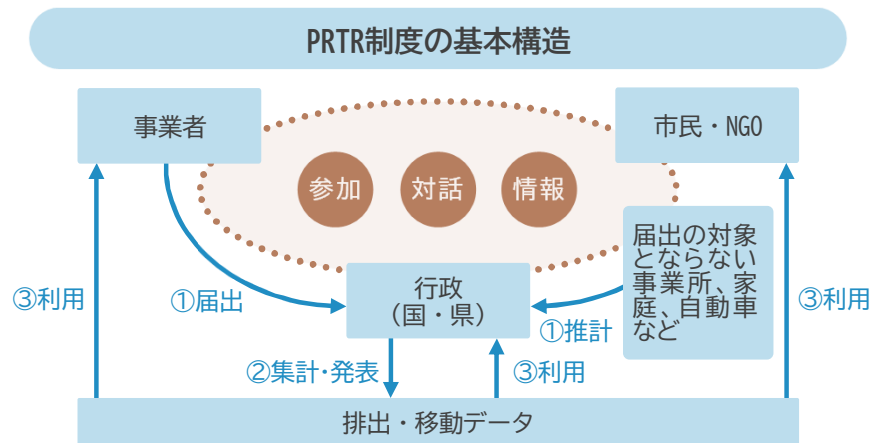
また、工事現場での作業基準等の遵守状況の確認を行うため、県環境研究センターと連携して測定を伴う立入検査を実施するとともに、今後のアスベスト使用建築物解体件数増加に対応すべく携帯型蛍光顕微鏡を活用した効率的な立入検査方法を検討



携帯型蛍光顕微鏡によりアスベスト漏洩の有無を確認

● 化学物質の排出量・移動量の把握と公表

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)に基づき、工場等での化学物質の排出量及び移動量を把握・公表することにより、事業者自らの排出量の適切な管理や化学物質によるリスクを削減



● 有機フッ素化合物(PFAS)への対応 **拡**

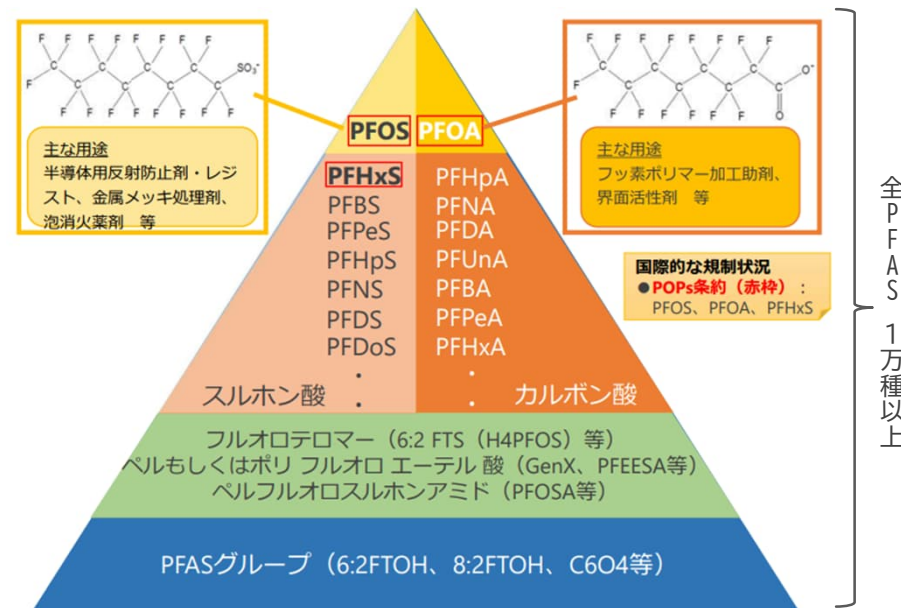
健康への影響が懸念される有機フッ素化合物(PFAS)について、県内全域の河川や地下水での常時監視を継続するとともに、PFASの環境中の挙動を解明し、低減・削減対策を検討するため、削減指導手法の調査研究を実施

また、県民への正確で迅速な情報発信体制を整備



地下水の採水・測定

PFAS (ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物の総称)



- ▶ POPs条約においては、PFOS、PFOA、PFHxSの3つの化学物質が廃絶等の対象
- ▶ その他のPFASについては、これら3つと同様な有害性等があると認識されているわけではない



## V

## 共創力

～多様な主体のイコールパートナーシップによる連携・協働～

要求額

国庫

特定財源

起債

一般財源

108,454

0

22,836

0

85,618

## 共創を担う次世代の人材の育成 (44,835千円)

兵庫五国の多様な自然風土などを活かしながら、自ら「体験」、「発見」し、自ら「学び」、「行動」する機会を提供し、継続的な環境学習・教育を推進

幼児期

初めての環境体験の機会を提供



## ● ひょうごエココプロジェクト(ふるさと兵庫こども環境体験)の推進

幼児が一定の専門性を持つ環境体験を継続的に受けられる体制を構築するため、幼稚園等が実施する環境体験を支援



ひょうごエココプロジェクト

学齢期

発達段階に応じた体験活動を実施【教育委員会】

- ・環境体験事業(小学校3年生)
- ・自然学校推進事業(小学校5年生)

青年期・成人期

環境問題の解決策を考え、実践できる資質を身に付ける人材を育成

## ● ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクトの開催

(公財)ひょうご環境創造協会と連携し、高校生を対象に、環境問題を多角的に捉え、解決策を考え、実践できるリーダーを育成

## ● ひょうごユースecoフォーラムの開催

高校生や大学生などの若者世代の運営による、環境活動団体や企業等との交流を図るフォーラムの開催を支援



ユースecoフォーラム(R6.12)

## 多様な主体のイコールパートナーシップによる共創 (63,619千円)

● 大阪・関西万博に合わせた国内外への発信 **新**

里山・里海における生物多様性の確保と地域の持続可能な発展を目指すため、大阪・関西万博を契機に、未来を担う若い世代との交流を通して里山・里海の重要性やその保全と再生に向けた取り組みを国内外に発信するとともに、様々な主体との協働によるフォーラムを開催

## ● 国際環境協力の推進

HAT神戸に集積しているアジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)センターや(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター、(公財)国際エメックスセンターと連携し、海外への環境保全に関する取組の情報発信、ビジネスと環境に関する調査研究など、地球環境保全に向けた国際的な取組を地域から推進

## 令和7年度 予算要求額

## 1 予算要求一覽表

(一般会計)

(単位：千円)

課 名	令和6年度 当初予算額	令和7年度 予算要求額	財源内訳				備 考
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
総 務 課	62,104	38,037	0	3,805	0	34,232	
環 境 政 策 課	1,224,850	1,169,914	283,260	413,436	0	473,218	
自然鳥獣共生課	1,433,504	1,430,408	933,709	222,584	0	274,115	
水 大 気 課	806,243	615,205	53,442	261,455	0	300,308	
環 境 整 備 課	162,064	175,566	101,444	35,759	0	38,363	
計	3,688,765 …A	3,429,130 …B	1,371,855	937,039	0	1,120,236	B/A 93.0%

※人件費等を除く

## 令和7年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費 環境学習推進事業費 温暖化対策費 自然環境保全対策費 野生動物保護管理費  
 大気汚染対策費 自動車環境等対策費 水質汚濁対策費 環境影響評価推進費 廃棄物適正処理対策費

(一般会計)

(単位：千円)

事項名	令和6年度 当初予算額	令和7年度 予算要求額	財源内訳				概要説明
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
(環境政策課) 環境行政総合調整費	419,222	293,778	2,532	120,394	0	170,852	<p>環境先導社会の実現を目指し、県自ら率先して「環境率先行動計画推進事業」等を実施するとともに、県内中小企業者の環境保全に必要な資金を、長期かつ低利に融資するため資金の貸付を実施する</p> <p>1 アジア太平洋地球変動研究ネットワークセンター活動支援事業費 18,312</p> <p>2 (公財)地球環境戦略研究機関・関西研究センター運営支援事業費 26,285</p> <p>3 (公財)ひょうご環境創造協会運営費補助 33,239</p> <p>4 環境保全・グリーンエネルギー設備設置資金貸付金 97,910</p> <p>5 兵庫県環境研究センター管理運営費 103,548</p> <p>6 フードドライブ運動推進事業費 2,864</p> <p>7 脱炭素型消費行動促進事業費 5,145</p> <p>8 環境率先行動計画推進事業費 等 6,475</p>
(環境政策課) 環境学習推進事業費	45,497	44,835	0	15,646	0	29,189	<p>環境や生命を大切に思う”こころ”を育み、学習から実践へとつなげていくため、ライフステージに応じた体験型環境学習・教育を推進するとともに、地域の自然の中で豊かな体験を通じて、ふるさと意識の醸成を図る</p> <p>1 ひょうご環境体験館運営事業費 29,189</p> <p>2 ふるさと兵庫こども環境体験推進事業費 14,646</p> <p>3 ひょうごユースecoフォーラム開催事業費 1,000</p>

## 令和7年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費 環境学習推進事業費 温暖化対策費 自然環境保全対策費 野生動物保護管理費  
 大気汚染対策費 自動車環境等対策費 水質汚濁対策費 環境影響評価推進費 廃棄物適正処理対策費

(一般会計)

(単位：千円)

事項名	令和6年度 当初予算額	令和7年度 予算要求額	財源内訳				概要説明
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
(環境政策課) 温暖化対策費	755,491	827,916	280,728	274,011	0	273,177	住宅用太陽光発電設備等の導入促進を図るため、長期かつ低利に融資する資金の貸付を実施するとともに、脱炭素社会の実現に向け、温暖化対策の施策を展開する 1 住宅用創E補助・省E補助-設備設置特別融資事業費 247,008 2 再生可能E補助-相談支援センター運営事業費 3,058 3 地域創生！再エネ発掘プロジェクト事業費 4,617 4 うちエコ診断推進事業費 2,129 5 PPA方式等による太陽光発電設備導入補助事業費 10,000 6 温室効果ガス（GHG）排出量算定支援事業費 2,400 7 新 自家消費型住宅用太陽光発電設備等事業費補助 175,500 8 新 自家消費型非住宅用太陽光発電設備等事業費補助 40,000 9 新 木質バイオマスボイラー導入事業費補助 60,000 10 里山バイオマス活用コンソーシアム構築事業費 3,670 11 新 カーボンニュートラルロードマップ作成事業費 5,000 12 新 パワースタイル太陽電池等を活用した地域脱炭素強化推進事業費 3,649 13 地球温暖化防止対策推進事業費 等 270,885



## 令和7年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費  
大気汚染対策費環境学習推進事業費  
自動車環境等対策費温暖化対策費  
水質汚濁対策費自然環境保全対策費  
環境影響評価推進費野生動物保護管理費  
廃棄物適正処理対策費

（一般会計）

（単位：千円）

事項名	令和6年度 当初予算額	令和7年度 予算要求額	財源内訳				概要説明
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
(自然鳥獣共生課) 自然環境保全対策費	130,103	131,367	45,898	5,662	0	79,807	優れた自然、身近で大切な自然環境や貴重な野生生物と生態系の保全・再生を図るため、参画と協働による取組などを進めるとともに、ススキ草原等の豊かな自然を有する上山高原等の保全管理を行う 1 上山高原貴重種保全等事業費 2,631 2 峰山高原滞在型中核施設整備事業費 1,692 3 自然環境整備交付金事業費 61,378 4 特定外来生物被害対策事業費 15,750 5 特定外来生物総合対策事業費 14,778 6 六甲山環境保全推進事業費 2,061 7 自然公園拠点施設利活用推進事業費 12,245 8 自然公園条例施行費 等 20,832

## 令和7年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費  
大気汚染対策費環境学習推進事業費  
自動車環境等対策費温暖化対策費  
水質汚濁対策費自然環境保全対策費  
環境影響評価推進費野生動物保護管理費  
廃棄物適正処理対策費

(一般会計)

(単位：千円)

事項名	令和6年度 当初予算額	令和7年度 予算要求額	財源内訳				概要説明
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
(自然鳥獣共生課) 野生動物保護管理費	1,303,401	1,299,041	887,811	216,922	0	194,308	<p>野生動物の保護管理および個体数調整を図るとともに、狩猟の適正化・安全確保、並びに鳥獣被害の防止を推進する</p> <p>1 シカ有害捕獲促進事業費 38,734</p> <p>2 狩猟期シカ捕獲拡大事業費 185,558</p> <p>3 鳥獣被害防止総合対策事業費 603,871</p> <p>4 シカ丸ごと1頭活用大作戦事業費 133,606</p> <p>5 指定管理鳥獣捕獲等事業費 44,000</p> <p>6 新 ツキノワグマ管理総合対策事業費 36,249</p> <p>7 カワウ総合対策事業費 5,345</p> <p>8 県立総合射撃場運営費 46,511</p> <p>9 狩猟期イノシシ捕獲拡大事業費 37,983</p> <p>10 狩猟者掘り起こし・有害鳥獣捕獲者育成プロジェクト事業費 12,394</p> <p>11 新 スマート獣害対策モデル整備事業費 29,269</p> <p>12 新 獣害から守るくらしの安全プロジェクト事業費 6,669</p> <p>13 鳥獣保護員等取締活動費 等 118,852</p>
(水大気課) 大気汚染対策費	41,159	40,467	26,811	1,457	0	12,199	<p>大気環境の保全対策、有害物質対策を実施する</p> <p>1 有害大気汚染物質監視・規制事業費 1,601</p> <p>2 環境放射能水準調査研究費 26,811</p> <p>3 大気汚染防止法施行費 等 12,055</p>

## 令和7年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費 環境学習推進事業費 温暖化対策費 自然環境保全対策費 野生動物保護管理費  
 大気汚染対策費 自動車環境等対策費 水質汚濁対策費 環境影響評価推進費 廃棄物適正処理対策費

(一般会計)

(単位：千円)

事項名	令和6年度 当初予算額	令和7年度 予算要求額	財源内訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(水大気課) 自動車環境等対策費	509,117 (505,367)	320,932	13,844	245,567	0	61,521	<p>大気中に排出される窒素酸化物及び粒子状物質の軽減を図るため、運送事業者等次世代自動車導入事業費補助等を実施するとともに、水素社会の実現に向け、水素ステーション整備費補助等を実施する</p> <p>1 運送事業者等次世代自動車導入事業費補助 21,435</p> <p>2 公用車ゼロエミッション化促進事業費 3,055</p> <p>3 最新規制適合車等購入資金融資事業費 60,620</p> <p>4 次世代自動車充電インフラ維持管理事業費 10,918</p> <p>5 新 燃料電池トラック導入事業費補助 25,960</p> <p>6 水素ステーション整備事業費補助 50,000</p> <p>7 新 大規模水素ステーション整備事業費補助 100,000</p> <p>8 パッケージ型水素供給設備導入事業費補助 12,500</p> <p>9 自動車NOx・PM法施行費 等 36,444</p>
(水大気課) 水質汚濁対策費	99,233 (95,333)	91,782	12,787	14,431	0	64,564	<p>水質の保全、生活環境の改善を図るため、水質環境基準の監視や土壌汚染対策等を実施する</p> <p>1 水質調査船運航管理費 5,661</p> <p>2 広域総合水質調査費 5,232</p> <p>3 化学物質環境実態調査費 7,555</p> <p>4 水質環境基準等監視事業費 13,707</p> <p>5 PFAS実態把握推進事業費 11,985</p> <p>6 新 PFAS調査結果公表システム運用事業費 912</p> <p>7 栄養塩類管理計画推進事業費 9,090</p> <p>8 ブルーカーボンのクレジット活用促進事業費 6,377</p> <p>9 豊かな海づくりに向けた県民運動の展開事業費 4,000</p> <p>10 瀬戸内海環境保全県計画推進事業費 等 27,263</p>

※ 令和6年度当初予算額欄は、上段に事項組替え後の金額を、下段に当該事項の令和6年度当初予算計上額を( )書きした。



## 令和7年度 予算要求額

## 2 予算要求額の概要（主要事業）

環境行政総合調整費  
大気汚染対策費環境学習推進事業費  
自動車環境等対策費温暖化対策費  
水質汚濁対策費自然環境保全対策費  
環境影響評価推進費野生動物保護管理費  
廃棄物適正処理対策費

（一般会計）

（単位：千円）

事項名	令和6年度 当初予算額	令和7年度 予算要求額	財源内訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(水大気課) 環境影響評価推進費	156,734	162,024	0	0	0	162,024	環境影響評価のための審査会の運営、大気汚染常時監視及び環境情報総合システムの整備、運営を行う 1 環境影響評価推進事業費 2,198 2 環境情報総合システム維持運営費 49,110 3 大気汚染常時監視網維持運営費 45,217 4 微小粒子状物質(PM2.5)対策推進事業費 16,994 5 微小粒子状物質(PM2.5)成分分析事業費 4,883 6 気象測定機器再検定事業費 等 43,622
(環境整備課) 廃棄物適正処理対策費	162,064	175,566	101,444	35,759	0	38,363	廃棄物処理法等に基づき、廃棄物の減量化及び適正処理等のための各種施策を実施する 1 産業廃棄物処理業者指導費 18,793 2 不適正処理対策充実強化費 15,378 3 改正PCB特措法施行費 8,967 4 大阪湾広域処理場推進事業費 2,436 5 海岸漂着物等地域対策推進事業費 89,148 6 海岸漂着ごみ組成等調査事業費 6,748 7 暮らしに根ざした資源循環推進事業費 15,134 8 ひょうごプラスチック循環コンソーシアム事業費 5,181 9 新 廃棄物処理の地域基盤強化事業費 6,300 10 産業廃棄物実態調査等委託費 等 7,481